

児童発達支援事業所における自己評価結果 (公表)

令和3年2月1日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		基準を順守したスペースを確保しております。児童が快適な空間で教育を受けられるよう、個別・集団での部屋の使い分けを明確に行うことや、机や椅子の配置を工夫するなど、落ち着いた療育が受けられるよう工夫しております。	利用児童の状況を常に考慮した使い方を徹底して参ります。
	2	○		基準配置以上の配置数であり、直接処遇は全て有資格者を配置しております。	今後も職員配置においては十分な体制でしっかりと療育が進められるように努めます。
	3			個々の特性に合わせ、写真や絵カード等で視覚的に分かりやすい表示を行っております。また、利用児童が安全に過ごせるようクッション材等を敷き、怪我のないよう配慮しております。室内はバリアフリー化がされており、車椅子にも対応できております。	今後は更に玄関のスロープ等の設置なども検討して参ります。
	4	○		現在は、コロナ禍の状況を踏まえ、できるだけ三密を避け、マスク着用の徹底、定期的な換気等に気をつけるようにしております。また、朝、夕最低2回は玩具や療育室、集団スペースの清掃やアルコール消毒を行っております。また、定期的に生活空間に関しては塩素系消毒を行い、目的に合わせた部屋の使い分けを行っております。	その日の利用児童の状況に応じて、個別・集団での部屋の使い分けを明確にして参ります。また、保健所行政の助言を仰ぎながらより一層の工夫を行って参ります。
業務改善	5	○		毎月のリフレクション会議、毎日のミーティングで常勤・非常勤を問わず、全職員が業務に関する問題点を話し合い、改善策を話し合う機会を出しております。PDCAサイクルに基づいた課題分析をし、その上で共通認識、意思統一の徹底を図っております。	今後も共通認識、意思統一の徹底を一層図って参ります。
	6	○		保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	今後も緊急的な事案はもちろん、ご意向等の把握に迅速に対応して業務改善につなげて参ります。
	7	○		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	今後も、公式 Web サイトにて公開を行い、改善点については早急に対応して参ります。
	8	○		第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	第三者による外部評価については今後課題として検討して参ります。
適切な支援の提供	9			職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	今後も研修を活用し、知識としてだけでなく、日々の関わりの中で実践できるように研鑽して参ります。
	10			アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	今後も保護者様との面談の中で保護者様と利用児童のニーズや課題を十分に把握、検討して参ります。
	11	○		子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	これからも保護者様には丁寧で分かりやすい説明を心がけ、アセスメントを行って参ります。
	12	○		児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	学校、病院、行政など関係機関からの情報を保護者様に了解を得た上で項目の選択の判断基準に取り入れて参ります。
	13	○		児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	利用児童の状況等に合わせた支援内容の検討や、変更を定期的に行って参ります。
	14	○		活動プログラムの立案をチームで行っている。	多くの意見やアイデアを採用し、利用児童が楽しく取り組んでいけるプログラムを立案して参ります。
	15	○		活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	常に利用児童の状況や意向を考え、楽しく活動できるよう工夫を行って参ります。
	16	○		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している。	今後も、利用児童の状況を最大限に考慮した活動内容の充実を図って参ります。
	17	○		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	今後も情報共有の徹底に努めます。
	18	○		支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	各職員が気づいたことはどんな小さなことでも報告してもらうようにして参ります。
関係機関や保護者との連携	19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	今後も記録の取り方を全職員が同じレベルでできるようにして参ります。
	20	○		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	今後も保護者様のご意向や利用児童の現状把握を丁寧に精査させて頂き参ります。
	21	○		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	現場の意見も十分に児発管が把握して、より質の高い情報の把握に努めて参ります。
	22	○		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	今後も更に連携を深めて参ります。
	23	○		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	24	○		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索して参ります。
	25	○		移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	今後も定期的に訪問をさせて頂き、連携を深めて参ります。
	26	○		移行支援として、小学校や特別支援学校の交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	今後もより一層関係作りを努めます。
	27	○		他児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	今後もより一層関係作りを努めます。
	28	○		保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	保護者様のご意向を踏まえて保育所、子ども園等を訪問して当該施設の利用を促進するよう検討して参ります。
保護者への説明責任等	29	○		(自立支援)協議子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している。	今後もコロナの状況には注意をしながら、お声かけがあれば参加させて頂き参ります。
	30	○		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	今後も保護者様より育意を伺った上で情報伝達を安心して参ります。
	31	○		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	今後も保護者様とご利用児童の関係性把握やご相談に際してはより一層関係性を深めて参ります。
	32	○		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	保護者様に不安を与えないように丁寧さを重視して参ります。
	33	○		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	児童発達支援ガイドラインについては分かりやすく丁寧な説明をして参ります。
	34	○		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	今後も保護者様のご相談には丁寧に適切に対応して参ります。
	35	○		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	再開してもスムーズに行えるよう調整をして参ります。
	36	○		子どもや保護者からの相談や申入れについても、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	今後も体制の整備の充実と工夫に努めて参ります。
	37	○		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	今後も保護者様への周知を図り、事業内容をより良く理解してもらえようように努めて参ります。
	38	○		個人情報の取扱いに十分注意している。	個人情報は今後も同様に細心の注意を払って参ります。
非常時等の対応	39	○		障がいのある子どもや保護者のための意思疎通や情報伝達のための配慮をしている。	送迎時や連絡帳等、保護者様とのお話をする中で、常に現在の状況を丁寧に伝えて意思疎通を図って参ります。
	40	○		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	目標として、地域に開かれた事業運営を目指していますので、コロナの状況が落ち着けば行事企画等を積極的に展開し、招待する等イベントを検討していきたいと考えております。
	41	○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施している。	季節性の感染症の流行期が近づくと前から予防対策や流行の状況を詳しくお知らせして参ります。また、保健所や行政等の助言を仰ぎながらより一層の工夫を行っております。また、緊急時対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、児童を想定した訓練を実施しております。
	42	○		非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている。	コロナの状況で警察署や消防署にお願いをする行事は今回行っておりませんが、より高度な訓練を行う際にはお願いして参ります。
	43	○		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している。	今後も保護者様とご利用児童の関係性把握やご相談に際してはより一層関係性を深めて参ります。
	44	○		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている。	今後も保護者様より得た情報は職員に周知徹底を図って参ります。
	45	○		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	今後も原因と改善策を十分に精査した上で、職員間の共有を深めて参ります。
	46	○		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	全職員が一度でも参加をできるようにして、知識の向上と防止に努めて参ります。
	47	○		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	今後も利用児童や保護者様には十分に分かりやすく説明を行い、了解を得た上で計画に記載して参ります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。